石川工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	国語ＩＩ

科目基礎情報

科目番号	20012	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	環境都市工学科	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	新精選現代文B（明治書院）　新精選古典B（古文・漢文編各1冊計2冊、明治書院）／新精選現代文B学習課題ノート（明治書院）　新精選古典B課題ノート（古文編・漢文編各1冊計2冊　明治書院）　国語常識ベーシック（数研出版） カラー版新国語便覧（第一学習社・1年次より継続）		
担当教員	團野 光晴		

到達目標

1、現代の小説・詩歌・評論を論理的に読解し、鑑賞することができる。
2、古文を読解し、口語訳・鑑賞することができる。
3、漢文を読解し、書き下し・口語訳・鑑賞することができる。
4、基本的な日本語運用能力（常用漢字・討議を通じた意見形成）を習得し、活用できる。
5、各種情報を活用しつつ、感想文・随筆・意見文などの文章を作成できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1,4	現代の文章を論理的に読解し、深く鑑賞できる。また討議なども踏まえ、それについての意見･感想を形成できる。	現代の文章の主旨を概ね理解・鑑賞でき、意見交換なども通じて考えをまとめることができる。	文意の理解が十分でなく、それに関する対話などを通じて自分の考えを深めることができない。
評価項目4,5	基本的な常用漢字を習得して運用でき、各種情報を踏まえて自分の意見を展開し、文章化できる。	日常的に使用する漢字をほぼ習得して運用でき、具体的根拠に基づいて考えをまとめ、文章化できる。	日常的に使用する漢字の修復が不十分で、客観性を持つ形で自分の考えをまとめることができない。
評価項目2,3	古文・漢文の高度な知識を理解した上で、古典に親しみ、その意義を理解できる。	古典についての知識を習得し、これを鑑賞できる。	古典についての知識が不足し、充分意味を把握できない。

学科の到達目標項目との関係

本科学習目標 1 本科学習目標 4

教育方法等

概要	現代文の評論・小説・詩の論理的読解と鑑賞、古文・漢文の読解と文学史的理解の実践を通じ、自分の考えを正しく表現し公正に意見を交換できるための教養を習得する。また社会生活の基礎となる読み書き能力を養成し、技術者として必要な基礎学力を習得する。
授業の進め方・方法	漢字小テストを課す。その他授業理解を助けるために課題を適宜出すことがある。
注意点	作品に対して、主体的に興味・関心を持つことが大切である。国語辞典・古語辞典・漢和辞典を積極的に活用して、基礎的な知識の定着をはかること。適宜、小テストを実施するため、日頃の学習を大切にすること。 （評価方法・評価基準）前期末：前期中間試験（50%）、前期末試験（50%）学年末：全定期試験（80%）、提出物・小テスト（20%）前期中間試験、前期末試験、後期中間試験、学年末試験を実施する。成績の評価基準として50点以上を合格とする。

テスト

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	意味論的旅と越境（評論１）	具体的な事象の観察から一般概念を抽出する過程を論理的に理解できる。
		2週	意味論的旅と越境（評論１）	一般的な概念を踏まえて新たな思想を展開する過程を論理的に理解できる。
		3週	山月記（小説１）	語句の意味を押さえつつ、登場人物の置かれた状況とその心理を理解できる。
		4週	山月記（小説１）	作品の象徴的意味について理解し、鑑賞できる。
		5週	十訓抄（古文１）	文法的知識を踏まえて正確に口語訳でき、内容を鑑賞できる。
		6週	徒然草（古文２）	文法的知識を踏まえて正確に口語訳でき、内容を鑑賞できる。
		7週	徒然草（古文1）	文法的知識を踏まえて正確に口語訳でき、内容を鑑賞できる。
		8週	近代都市のレトリック（評論2）	対立する概念の内容を踏まえ、文章全体の構造を把握しながら読解できる。
	2ndQ	9週	近代都市のレトリック（評論2）	観察を記述する語句の概念を理解し、内容を把握できる。
		10週	小さな建築（評論3）	独自の視点からの逆説的な展開を論理的に理解できる。
		11週	小さな建築（評論3）	逆説的論理に照らして現代的課題を考える展開を論理的に理解できる。
		12週	故事（漢文1）	漢文句法の知識を踏まえながら、正確な書き下し、口語訳ができ、内容を鑑賞できる。
		13週	故事（漢文1）	漢文句法の知識を踏まえながら、正確な書き下し、口語訳ができ、内容を鑑賞できる。
		14週	漢詩（漢文2）	漢文句法の知識を踏まえながら、正確な書き下し、口語訳ができ、内容を鑑賞できる。
		15週	前期復習	
		16週		

後期	3rdQ	1週	こころ（小説２）	夏目漱石についての基本的な知識を理解し、作品の全体像を把握できる。
		2週	こころ（小説２）	登場人物の心理展開を正確に読み取ることができる。
		3週	こころ（小説２）	登場人物の心理展開を正確に読み取ることができる。
		4週	こころ（小説２）	作品について他者と討論ができ、自分の考えを深め、グループとしての意見をまとめることができる。
		5週	枕草子（古文3）	文法的知識を踏まえて正確に口語訳でき、内容を鑑賞できる。
		6週	源氏物語（古文4）	文法的知識を踏まえて正確に口語訳でき、内容を鑑賞できる。
		7週	源氏物語（古文4）	文法的知識を踏まえて正確に口語訳でき、内容を鑑賞できる。
		8週	小景異情（詩）	文語自由詩の内容とリズム・イメージの形の相関について理解し、観賞できる。
	4thQ	9週	永訣の朝（詩）	口語自由詩の内容と論理構造との相関について理解し、観賞できる。
		10週	いのちのかたち（評論４）	外国語と日本語との比較において既成概念を問い直す展開を論理的に理解できる。
		11週	いのちのかたち（評論４）	論中の二項対立の構図を押さえ、これに基づく展開を論理的に理解できる。
		12週	鴻門の会（漢文3）	漢文句法の知識を踏まえながら、正確な書き下し、口語訳ができ、内容を鑑賞できる。
		13週	鴻門の会（漢文3）	漢文句法の知識を踏まえながら、正確な書き下し、口語訳ができ、内容を鑑賞できる。
		14週	鴻門の会（漢文3）	漢文句法の知識を踏まえながら、正確な書き下し、口語訳ができ、内容を鑑賞できる。
		15週	後期復習	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	2	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	2	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	2	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	2	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	2	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	2	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	2	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	2	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	2	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	2	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	2	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	2	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	2	
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	2	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	2	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	2	
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	2	
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	2	
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	2	
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	2	
				自らの考えで責任を持ってものごとに取り組むことができる。	2	

				目標の実現に向けて計画ができる。	2	
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	2	
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	2	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	2	
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	2	
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	2	
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	2	
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	2	
				技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。	2	
				これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	2	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどのように活用・応用されるかを説明できる。	2	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを認識できる。	2	
				コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	2	
	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	2	
				経済的、環境的、社会的、倫理的、健康と安全、製造可能性、持続可能性等に配慮して解決策を提案できる。	2	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0